

十七人で伊國の次に位し、朝鮮の密度も亦千二百六人で塊、佛の上に在るのであるから、我國及び新領土では、如何に人口が稠密にして開拓の餘地少しがが、何人にも明かに首肯し得らるゝのに、之を専門の學者が下つて判らざる振りをするのは、我引水も亦甚だしからずである。尙は我國の土地と人口の割合を他國の其れに比較して見れば、我國耕作地の面積は總面積の一割八分六厘

伯國羊毛貿易

一九二一年、三月、英米、三四〇、中  
國及西印度諸島の產量は、一昨年  
の七十五萬英斤に對し、昨年は同量  
に達しなかつた。戰前の平均年產量  
は百萬英斤であつた。  
南米の生產高は、戰前の一九〇〇年  
七百三十五萬英斤に對し、一九二〇  
年は四億八千六百二十四萬九千英斤  
で漸減してゐる。之を各生産  
國別に示せば

地別にすれば、  
戰前平均 一九〇〇年 一九三〇年  
れんばうか なんざる なん  
● イグアペ水道浚渫

休つてゐるに依然として、  
深く休んで、聯合國に引渡された獨逸人で、競賣を行ふ但し買手は米人、合國人で舊敵國側に無關係の世界一と云ふ米國新攻機は重量二十噸の三葉式爆機を重り、百英斤とガソリンの外操縦を得て、イギリスにて試験飛行する爲手四名を搭乗し得近々試験飛行する。◆舊獨帝から花嫁へのブレスレットは白金臺に七百のダイアを胸飾り耳飾りを一對その價十億馬克で伯林の寶石商へ田逆戻のれば現れる。

佛蘭西  
べりあんせ  
六〇六八  
元四〇〇〇  
六一四〇〇  
かくの如く西班牙及  
スペイン及  
なんべいし  
米國

行所  
伯刺西爾時報

故に葡語を獨習し又は手紙を書くくには  
何人も此の書を座右に備ふるの要があ  
▲未だ御購求なき方は速かに御注文を願ひます

九三

豫約期終了に付き正價に復す

菊語手紙の書方

一全本美版菊  
一八〇百三數紙

伯刺西爾語は言文一致であるを利用して、會話と作文を同時に修得すべく仕組んで、之に文法活用を附加へたのは本書である。

三月  
正月  
二月  
四月

鐵道株の若くは聯若者と定む  
軍用飛行彈一萬八  
者二名助  
飛行する  
レゼンテ  
ちらりばめ  
額は合計  
注文した

文拂猶豫  
佛國引渡

せんとす

重な監督  
祝を設け

繼續しフ

年來代々  
針なのを

まで伊國  
一は最近  
を撲滅し

映寫禁止  
黒の運動

の徒が横  
暴動寫眞

高等法院  
なつたの  
を命じた

として抗

アメリ  
カ  
はん  
き  
判決

に對し賠  
たいへい



宗 略 論 壇

# 感 激 小林美登利

私共の様に精神界の事業に携つて居る者は、物質的には何時も逆境にありを常としますが、然し精神的には非常に祝福せられた生活を送り居るもので、金錢などでは得難い所の喜びを有つて居ります。特に人の情に動かされたり、至誠に感激したりする點に於ては、人一倍に敏感なものがあります。此處に記さうとしますが、最も最近私の心を最も感動せしめたもの、それは故森村市左衛門翁が親族の機體の事實を述べて「心に溢る、感激の一言」の如きが、最も印象的です。この事も、最近私の心を最も感動せしめたもの、それは故森村市左衛門翁が親族の機體の事實を述べて「心に溢る、感激の一言」の如きが、最も印象的です。

望を満たし、あなたの御心を此青年を通じて行はしめ給へ！常に彼れと共に居給はん事を願ひ上げられました。アーメン。

私は此南米の新天地に自分の使命を感じる。然し彼等の答はる所は、餘りに冷淡であつて、或日本人牧師の如きは私の南米行きを以て「血氣律で禁じやうがどうやうが」の青年が徒らに冒険奇事を好む舉動を起す決心を固めた時、計らずに冷評した者すらあります。私は他人を頼る事の餘に腑甲斐なきを思ひ、敢然起つて独立獨歩の精神と同情とを寄せられた村井氏の心に對して、私は感激せざるを得ません。我事業の背景をなして居るのだと思ふと、其處に云ふ事の出来ない激動の心の緊張する事を覺えます。特に斯る人々が捧げる淨財の一文たりとも、私用の爲に費す等とは、露程も思ひ得られない處で、只心に願ふは之等赤誠のこもれる實が過たざる用途に依つて、他日百倍二百倍の實を齎して之に報いん事であります。村井氏は我聖州義塾設立の事を聞かず、や、更に改めて寄附せられ度き、旨を申越されました。私は今何を以て同氏に謝すべきかを知りません。

●伊國上院議員の對伊國移民意見

獨立百年記念大博の伊國委員、同國上院議員のアウグスト・セッティ氏は、訪客に對し伊國移民の伯國流入は、引續き増加すべき事を語り更に次のやうな意見を述べた。只伯國人の感情を害ふことにのみ役立つて、何等兩者を益する事はない。現行労働契約の或個條は、全然改める必要がある。即ちそれは例の移民家主不可侵や、伯國官憲の優位なるべき地

と記した祈禱の言葉が書き加へられました。

云はず、世界中何處へ行つたつてある、之等は全く無益な事で、伯國が處する問題に、領事があらはに干涉するなどと云ふ事はあるべき筈である。だから伊太利語の義務教育の如きで、年を通じて行はしめ給へ！常に彼と共に居給はん事を願ひ上げられました。

家宅は不可侵であり、又一國の官憲は、それを維持する爲に法律を以て行くのが好適例である。だからして得るのが必要なのであるから、終始農業労働者として、耕主から給料を得るが、伊太利移民は益々増加するに違ひない。尙伊太利人は農民であるから、獨立農として植民する前二三年の経験を得るが、他日獨立農植民となるねばならないものである。よろしく聖州に於ける舊制度は廢され、各移民が出来るだけ短時間に、土地を所有し得るやうにならなければならぬ。

墨國經濟狀能

## 移民制限挿話

して曰はく、他日米國の重籍妻楊技主義の、記念碑でも建てる寄附金募集でもあつたら、カールトン夫人は第一着に申込む事だらう。

## 綿の種子

獨逸に於けるハーバー・ボツシユ式  
窒素製造最大能力に三十萬噸で、カ  
ルシユームからの製造高十萬噸、石  
炭蒸溜及び石炭瓦斯工場での產出量  
一萬噸、合計五十萬噸が最大年產量  
である

日本貿易株式會社

◇新荷着御案内◇

Rua Quintino Bocayuva, 80  
Caixa, 1714 Tel. Cent. 3449  
São Paulo

中矢商店 直輸入商 中將湯質母散新藥澤山  
書籍 金物雜貨 日本野菜種子一切  
化粧品 小間物  
（數の子、土佐鰹節、削節、淺草苦、干瓢、天干、蒟蒻、  
椎茸、サニキ、昆布、福神漬、日本本橋漬、蛤味付  
御園白粉、ラップ白粉、クリーム、パール、コロナ、二  
ワ石鹼、花王石鹼、金鶴石鹼、アルボース、齒磨粉等、  
ソグド、キトリ、ピントリ、スキトリ、石入ナシ、  
止メ、ガランボ、カモジタ、タボ其他  
講習、喜劇、悲劇、流行歌集、浪花傳、小學讀本卷の「より終  
代用文、各小説類、五百題、修養書  
稻刈鎌各種、鉋丁、大工用、ヤヨリ、理髪道具一切、  
タル、線香、齒磨ヨージ、巻皮財布、其他  
中將湯質母散新藥澤山

聖波羅土地木材殖民會社

192  
THE JOURNAL OF CLIMATE

**UJISAKI & CUMP.**

---

# 藤崎商會

東京本店  
赤坂區 淀池町廿  
リオ、デ、ジヤネイ  
ベルナンブー



## 狼と聖僧

# 小供の世界

所が或る日、フランシスコ僧は寺を留守にしなければなりません。した、何故なら諸方に病人や悲しき事があると、皆この聖僧を招いて、有り難いお説教に、懲みを輕くす。のが習慣となつて、毎日あちこちもこつちからも招かれるのです。今度は少し遠くまで行くので、暫くの間お寺を留守にしました。すると、ある日の事、あんなにまことに馴れて、皆から可愛がられてゐる狼が、不意に姿をかくして仕舞ひました、そして再び村へは歸つて来ませんでした。

狼は昔戀しく、以前の山へ歸つて行つたので、そして再び村人や、その家畜に害を加へ初めました。人はまた騒ぎ出し、恐ろしがつて、へ出るものもありません、村中で立つた勇者も、彼の前には赤児に等しく、弓矢も鐵砲も刀も役には立たず、全く惡魔の使者であるかのう……。

聖僧が村へ歸つて來ました、村の人はだれも彼をお寺へ走つて、友達になると言つた狼が、傍若無人に振舞ふ様を訴へました。

眉根を寄せきて、入つてゐたフランシスコ僧は、そのまま山へ登つて、行きました、穩かなその顔に決心の色が浮んでゐました、例の洞穴の前へ出ると、其處には狼の眼を光らしてゐました、聖僧は狼に云ひました、「神様に代つて叱咤に來たのぢや、何と云ふ前は邪魔な狼だらう、され程私に立派に誓つた僻に、何故づくねんと腕くみながら辱みて夕暮の煙に洩す溜息、昔の惡魔にかへつたのぢや、さわ涙を忍ぶ夕暮の烟辭をしないか」

雄々しくも高き心に血は踊る父なる時は宿だら泣く  
思ひ出の瞳を閉ぢよ泣けばこてな  
た泣ばとて術はあらなし  
何事も己が宿命と思へども諦め  
もろく亂れて  
○徒らに 萍 花  
町はづれの瀬戸物屋にも櫻咲き江戸  
戸繪の茶器を見て懸かる  
思ひなつかしさか病も伯國の上  
の色して終らむと夢む  
遙々と尋ねて來たり伯國に大和  
子咲きてありやど  
鳴くサビヤ飛べる胡蝶と  
に親しむべかりし身なり  
はら／＼と落つるは梨の病葉の御  
國思へば歌はねど涙

成りの経緯が有りました。そして或る時期の貴郎と私は反目してゐた、併し現今になつて其の時代の事を反省して見ると、私達が人間に對して覺悟した道程では無かつたでしようか？ 反感を抱いた凡ても今ははれませんでした。

になつては淨化されでゐます。これは私がラジルにて間なくしてからの貴郎からの書信にも現今まで他人行儀にして來た事を悔ひ、今まで他人行儀にして來た事を悔ひ、尚且言ひましまが、それは私が貴郎に對して云ふべき言葉だとしか思はれませんでした。

自分の手紙を受取つてからもう二ヶ年になります。原始の様な伯國の事情を私の筆にてお通知申上げぬ御を自分乍歿念に思つてゐました。

そして私は手紙を會く都度に辛らい境地におかれられてゐる私のさもしない人生觀は前後も全く書き綴つてゐました。貴郎はそれに不平もなく私の方にて或る時は師となり、或る時は兄となりて私の暗い心を明るみに導いて下さつてゐます。此の間の手紙にも大和民族としてのバチツシメントの心を發揮して欲しく認めてありました。

私は今ロシアの作家の創作を讀み續けてゐます、その廢頬の底にも久々に「シイツ、静かにしないか！ チヨツト何て喧嘩しないんだらう。まるで手はつて大きいぞんざいな怒鳴聲がしたので、糸紡女等の話聲は、バタリと止つてしまつた。

「シイツ、静かにしないか！ チヨツト何て喧嘩しないんだらう。まるで手はつて大きいぞんざいな怒鳴聲がしたので、糸紡女等の話聲は、バタリと止つてしまつた。

かう云ひながら、骨格の逞ましい黒い濃い鬚髪を生やした、苦虫を噛んだやうな、憎々しい顔の監督が姿を現はすと、その後からまだ若い、瘠せぎすな黑白混血児が、綺麗な小使の法被を着て、糸紡車を抱えて入

貴郎が先天的にベンを持つ人間に生まれて來てゐるのに對して、私は後天的にでもベンを持つ人間として生きて行きたいと思つてゐます島村抱月氏が藝術にたづさるは、創えて云はれたのも、菊地寛氏が藝術家は利益の事など云つては居られぬと黒人小説家ルチ・マラン氏がゴンリウル賞を得た其の作「バツアラ」の序文に於いて書かれた様に、「若し植民地の日々の醜状が一般に知れわれれば、人々は「自由な植民地生活」などといふやうな事はありに口にしなくなるであらう。植民地の風紀は段々頗廢して行く……私はこの句を私の住む（私は私の第二の樂園と思ひもせし）國の事情を感じ度折あしく、ロウザのそばに明いてゐる所があつたので、其處へ据えました。そしてイサウラに向つて、私は植民地の文藝を畫作し得る偉大なる人の現出を祈つてゐます。慰安も安んじて来た。そこで一番あとから、イスラが續いた。

息も無い異國人としての同胞に對して人々は何を考慮してゐるのでせう。常に夏の國の冬です時折は霜訪れました。じつと思索に讀書に耽る時期です。

貴郎から惠送された『吉水の崩壊』を讀んでゐます。何んとアトラクトな言葉でしよう。親鸞の凡てに敬虔眞仰を覺えさせられてゐます。

倉田氏の作『出家』こと其の弟子『略傳』は如人』とも發刊を重ねてゐる事ですね。朝日のグラビックにも『山家』と其の弟子の舞臺面がありましたが、最後に詩の隆盛になつてゐる事をも喜びませう。では白孔雀日本本の惠送を指折り數へ待つてゐます。

（一三、八三）

農具及工具用  
切の御注文は本  
願上候

# 鐵工場

平田初太郎  
ostal, P. P. SANTOS  
ソン・シユキーラ際  
村令太  
所御存知の方は甚だ喜  
小生宛御一報願上候

中万五郎  
o de S. Christovão, 90  
Rio de Janeiro

する法律事件の相談  
ヨアキン・デルフ  
・リベーロ・ダル  
富同建物四階十二四號室  
Pinto Ribeiro da Luz  
ender Sá, 14 S. Paul  
で、丁寧で有名な  
村洋服洗濯所  
ス港 古謝將義  
セントラル參貳參四  
S. Bento, 12 B  
entral, 2008, Santos  
dular Sula 10

手續其他一切の法律事  
ルト・デ・アンドラー  
・シニペ  
流行服を極めて廉價にて調  
製いたします  
・ベルグーデ  
街五三  
力  
アロイザ  
電話二三三八四四

第一 大正拾貳年度の徵集延期願を要する人は明治三十五年拾貳月貳日より同三十六年拾貳月壹日迄に於て付すべき在留證明願の日付は大正拾壹年拾貳月貳日以後の日付を起入すること

第二 大正拾貳年度徵集延期願の間に生れたる人並に徵集延期願の人です

第三 在留證明願は便宜本年十一月三日より受付く

第四 本邦への郵便は便船の都合により甚だしく遅着すること往々あるに付在留證明願は成るべく速かに差すこと

第五 右證明方を願出づる人は手數料八百「レース」(本人所在地へ回送方希望の人は右手數料の外百「レース」)、且又返信希望者は百「レース」の郵券封入の事若し差せざるものは返信せざるものとする)を價格表記郵便(コンバローラ)郵便が替り銀行爲替付送付すること、鐵道爲替は現金で取扱の際留置料として着驛より現金受取の日まで一日に付貳百「レース」の割合にて送金額中より之なる差引かるに依り右送金者は相當の留置料を加算し置くこと

第六 手數料は成るべく願書と同封して發送すべく、手數料丈を本籍にて發送する場合は送金人の氏名、本籍、現住所を詳記したる書類を封入することを必要とす

第七 本年十二月始めて證明願を差し出す人に限り左記の通り日本出發大正年月日を氏名の上部に記入すること

第八 本人より本籍地へ在留證明書を發送する場合は書留郵便を以てし其受取書を保存し置くこと

第九 証明願は必ず貳通差出すること

日本出發大正年月日氏  
伯國上陸大正年月日名  
大正拾壹年拾月  
在サンパウロ  
帝國總領事館分館  
Caixa Postal, 1167  
Ribeirão Preto  
Caixa Postal, 144

▲水陸共に交渉機關の發達して居る  
今では却々安閑としては居られない、最近關門海峡で船の検疫を嚴格にし始めた。ふらん條例よりからうるうと思ふが魚類まじ九州から運び込まれる状態では危険が歎かない警視監では平生一般的警戒の外虎疫の豫防には魚市場の警戒を特に慎重にして居るが、又各署へ命じて衛生係をして防疫官と連絡し毎日  
▲管内にある三百餘の死亡者に心して死體検案を履行して診斷書に依りて病因を極め多少でも疑はしい者は死傷者の便をつゝ細菌検査所で検査させて夫々處置を講じて居る。直接射か一番有効だから、盡々危險の度を強制する外ないが、副作用を起し易いので注射後一日位卅八九度の發熱をする者も間々あるので

西比利在留民保護の爲等海防艦日  
前憲政會代議士正五位勳三等柴四郎氏  
進及數隻の驅逐艦浦鹽に急派された  
は九月二十五日逝去了  
**◇柴四郎氏逝去**

●傳書鳩の大宣傳

富士山頂から  
日比谷公園へ

九月十日朝、動物愛護の宣傳があつて、  
富士山の頂から可憐な軍用通信鳩  
が八時五十分に立つて一時間卅八分  
で一飛びに日比谷まで色々な  
手紙を持つて來た。午前八時ごろ  
ふに日比谷公園音楽堂前には鳩車を  
中心に皇族貴顯を初め數多の群衆が  
圓陣を作つて今か今かと西の空を仰  
んで待てる處へ『イマハナシタ』との  
電報が届いた。

▲色々な通信を齎らした中に特に東  
京の各新聞社へ宛て、  
一万二千尺の高峰より三羽の軍用通信鳩を  
飛ばし二十有五年來叫び續ける吾等の主張  
「動物も愛護せよ」を今又六千萬の國民に宣傳  
せんとする、されどもは實に東京市内發行の子  
有新聞の同情と威力とに待たざるべからず  
と云ふ手紙もあつた、斯くて

▲廿六羽は無事に來たが後四羽は密

大王菊さんの死にまた日本書壇の一つの淋しさとなるであらう

た葉栗兩選手。元氣旺盛で東京着◇  
▲然し一日の走程は此前のから見れば四里位長く平均十九里づゝに當ました、樺太では土地の人に引寄せられ一日餘計に大森林の中を走つたのでした、こっちも非常の暑さにつたさうだが、私共も中々に暑かた時に雨に降られ出水の爲川口羽間は止むなく汽車に乗りました云々

イラベエ及びチンブリイ町に及ぶイバウツスク兩停車場からソウルへ向ふ。ソウルの近郊は、高麗時代より耕作地で、土地は高燥で、耕作は、土壤も目病もなく、而好く、熱病も目病もなく、而樹で、住家は瓦葺で、立派な新手人の爲に善良な家族の就業を得られる、新珈琲樹一千本の珈琲樹一千本と、四分の一とを興へ一千本の手入賃二百袋摘取賃一ミル四百レース、月現金を以てし、シャバンテ買物の爲には、耕地から無料で場がある、牛馬山羊豚等を飼育観察希望者には無料乗車希望者は耕地に於ては支配人への手紙は Timbury へ又 Timbury Sub. 32 の Alves Lima 氏 tel Grillo で案内も運搬も取扱

近いソロカバナ線のシャバントス  
からレグラの距離にあるコンセニ  
アントは、健康地、地味は豊沃、水は  
至つて健康地、地味は豊沃、水は  
も大部分は生産力に富んだ新珈琲  
耕地なり。今期收穫が終つたら、  
勵申込に應じる。豆や玉蜀黍を植  
え、豆を耕作出来るフォルマード  
以上の土地に耕作の出来る三千本  
ミルレース、百二十リットル入  
日給四ミルレースを拂ひ支拂は毎  
ス、イラベニ又はチンブリイ等へ  
運搬する。耕地内にはフバ製造工  
育し得る牧場もある。家長にして  
券を給與する。

福岡の虎疫か物夷の勢ひで騒動の極めて居るので帝都に一度び飛込んで来ては、と市民も警視聽も懼々たる矢先き、突然九月七日駄町内虎疫の疑ひある患者を出して大恐慌を演じたが、檢鏡の結果、何でも無いと一安心すると、又もや同八日横濱から虎疫患者が發生したと云ふので神奈川縣聽では大騒ぎ警視廳でも虎が前門に迫つた程の大恐慌を呈したが、之も陰性虎疫と判明したのでホット一安心、然し尾花を幽靈を見て驚く中こそ先は安心であるが愈々何うやら雲々きが怪しいとあつて警視聽下は警戒の手を嚴重にして目下で血眼の緊張振りでうる昨夜福永衛生部長は語る「虎疫菌は生体力はテブス等より幾分弱いが傳染力の強い事は甚しいものだ。福岡なども内務省の防疫官も出撃して居るし、皆必死になつて居るが何分四日頃からの雨綻きで活動も不自由だつたらう

東京電報、北米通信 (十月十日)

▲始かる人があつて困るが、此の前田川から越前堺月島海岸等に亘り、東京で三四人の虎疫患者を出した時船乗一同に強制注射を行つて非常に

◆國勢院の廢止

政府は近く國勢院を廢止し同院第一の部を全滅し、第二部は社會局と共に商務省に移管する等

◇戴冠式特使派遣

羅馬尼皇帝の戴冠式には西湖四郎氏特派大使として參列する

◆満鐵早川氏重態

滿鐵社長早川千吉郎氏奉天旅行先にて卒倒し危篤状態にある

◆虎疫益々昌獗

福岡縣に發生し次第大阪に傳播した虎疫は關東に波及し千葉銚子町では五十八名、東京では真症及疑似症十五名に達し其中五名は死亡した

▲一将校の話によると何等道具を有つてゐない驅逐艦が單獨で鋼板へ穴を開けることは絶対不可能である。カムチャツカ沿岸の漁業會社がそれだけの設備をしてゐること想像出來ないし結局は爆薬装置によつて船底に大穴を開けたのではあるまいかと思はれるその證據には救助されたもの、中に重輕傷者があるのはこれがためであらうと併しこれも想像過ぎる憶説である。

▲駆逐艦河内が爆沈した時は艦室へ潜入され、それを救助するのに奮闘してアセチレン瓦斯によつて穴を開けたのだからぞうさなく穴は開いても艦が沈没してあるのだから空氣の関係で穴の開いた瞬間に生きてつづき死ぬといふ悲惨な状況に陥つたものである兎に角今度の救助は岡田水兵が唯一一人遅く椿事を通報したのと共に餘程奇蹟的の出来事だといはれてゐる

栗原王葉選く  
第八回の文展に「さすらひ」といふ美文で、背負つて立つてゐた閨秀畫家玉葉原文子（三五）さんは永らく心臓病に苦しんで、慶應大學病院に入つてゐたが、俄然容體が急變して遂に九月八日夜同病院で亡くなつて遺骸は小石川白山御殿町一一〇の自邸に引取られ門下の若い女弟子達が泣きの涙でいろ／＼と準備をしてゐる。玉葉さんは長崎の生れで女子美術學校から端館紫川最後に寺崎廣業氏の門へ入つてメキ／＼と名を知られた、第八回文展の「お鶴」は多い繪と共にその美しさを知らぬ

攝政宮殿下が宮城に御出仕になつた九月十一日、その夜の九時頃大内山の消毒所附近に設けられてある官省御用の辨當屋「山崎」の賄方小山正一(三)といふのが俄に激しい下痢を起し空氣唯ならぬので侍医療か醫員二名驅け付け診察したところ似赤痢と判明した

BROMBERG & CIA.  
Rua Quitanda No. 10  
Caixa Postal, 756. S. PAULO

左記の處に支部若しくは取次所 置てありますから購讀申込料
拂込、及し申込料
所へ便宜御手數を願ひます
(順序不同)
コンキスター
プロミツソン
ビリケイ
アーリンス
リベロン
ペントナ
サントス
セザール
フレウヨン
イケアベ
社告
福川鈴木季薩然
宮崎坂元
森部一郎
古庄常喜
岡島仁義
長尾喜樹
菅山驚造
伯刺西爾時報社

## 虎疫に怯ゆる警視廳

卷之三

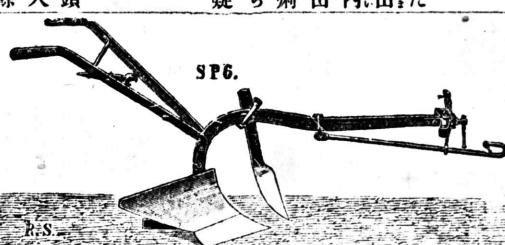
新高の艦底へ二つの穴を穿つて畠山機関兵曹長以下十五名を救助したことをつき海軍部内で何等の設備のない駆逐艦がどうして穴を開けたか

十一時五十分、陸下、宮殿下、動物愛護會の萬歳を三唱、散會した。此日、一臺の自動車は市内に宣傳ビラを撒いて歩いた。

●片山潜が飛行機で  
日齊會議に乘込む

獨逸製並米國製アーラード及附屬品  
鋸、製粉機、穀皮離脱機、其他二  
月の農具並石油發動機、牛馬牽引發  
機等安價にて堅牢なる品多量到着  
候間御用命伏して希望上候

◆最新式米國型洋服◆  
◆叮嚀迅速廉價調製◆



**BROMBERG & CIA.**  
Rua Quitanda No. 10  
Caixa Postal. 756. S. PAULO

珈琲園 コロノ募集

市キタン 外街十番

社の處に支部若しくは取次所ありますから謹讀申込、料金及其他に關しては最寄左へ便宜御手數を願ひます  
(順序不同)



大石内藏之助 半井桃李

**BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.**  
(THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.)  
Rua da Candelaria, No. 23  
Caixa Postal 380  
Rio de Janeiro

OSAKA SHOSEN KAISHA

各地  
食糧店

Rua Dr. Cochrane, 118  
Teleph. ....

創 節  
干 魚 發 賣 元  
三 共 商 會

◆日本金に引替本紙に當て付銀四三三三百五十レースにつき日本金壹圓  
◆日本内地郵便爲替料、書留料其他總て當店に於て負擔いたし即ち全無手料にて御郷里の受取人へ送り届け申上候  
◆金子は現金封入、郵便爲替又は銀行小切手にて當店へ御送り被下度猶は横濱正金銀行勘定として Banco Commercial do Estado de São Paulo へ御拂込被下候ても差支無之候  
◆何れにしても送金申込書は必ず忘れずに當店へ御送り被下たゞ候  
◆日本貨定期預金利息 六ヶ月以上 年六分  
◆伯貨定期預金利息 一ヶ月以上 年四分五厘  
◆伯貨當座預金 (小口) 年四五分  
◆預送金用紙は御請求次第直に御送り可致御不審の點は御遠慮なく御問合せ被下度候  
◆預金通帳は書留郵便にて御送付可申上候間御申込の際最寄郵便局御指定相成候はゞ御便宜に有之候  
◆オーナジヤネイロ

●力ナタダ丸  
　　北美、バナマ經由　サントス發十一月廿八日  
　　横濱、神戸行き　リオ港發十二月一日

●タコマ丸

日本ヨリ　　リオ港着十一月十三日  
　　サントス着十一月十五日

尙詳細は左記へ御問合せ被下候

Antunes dos Santos & Co.  
S. Paulo :— Rua José Bonifácio, 17  
Santos :— Rua 15 de Novembro 167  
Wilson Sons & Co. Ltd.  
Rio de Janeiro :— Av. Rio Branco 37